

- 新型コロナウイルス感染症禍における外国人雇用の状況について（現状）

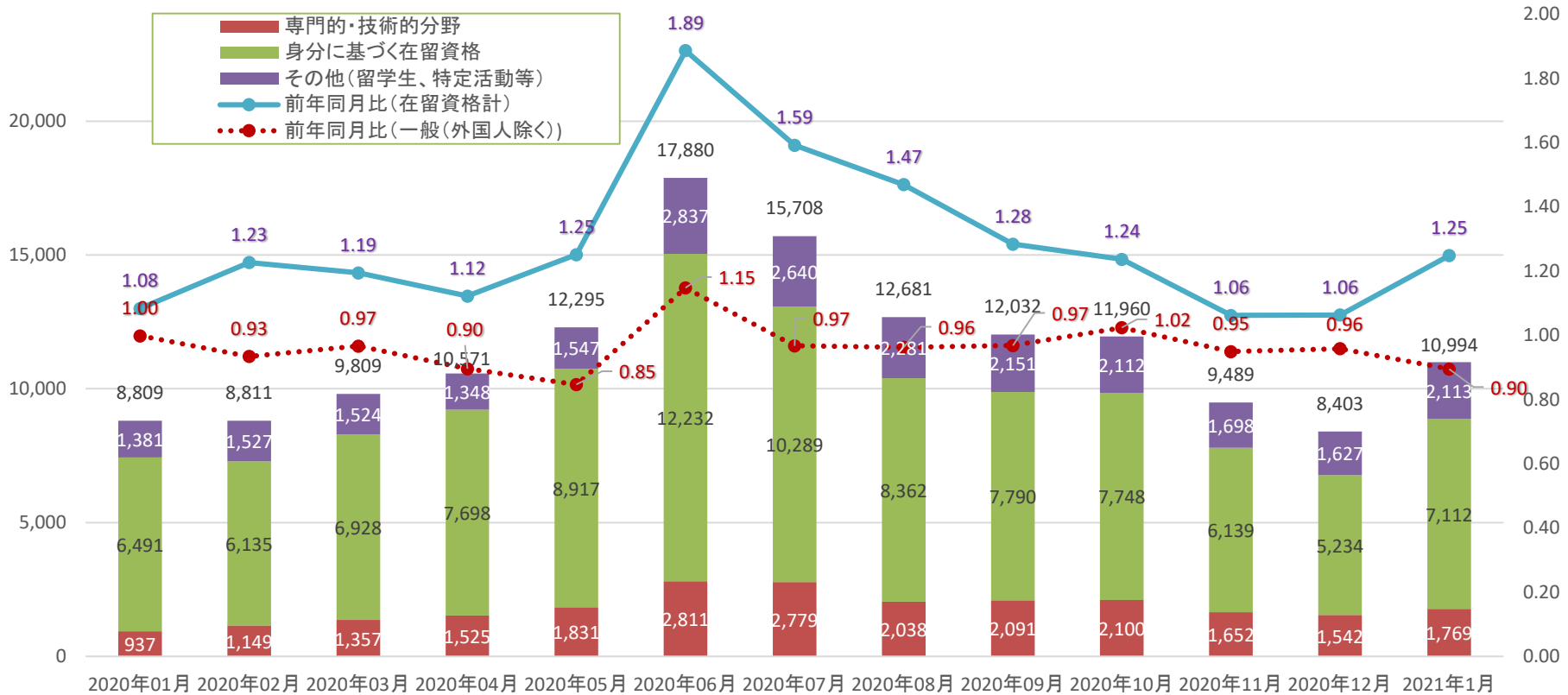
## ③外国人求職者の分析

（求職者数等）

# ハローワークにおける外国人新規求職者数の推移

- ハローワークにおける外国人新規求職者数（在留資格計）の前年同月比は、昨年1月から1～2割程度高い状態で推移し、6月に急激に上昇して1.9倍となった後、1.06倍まで低下したが、**直近では1.25倍となっており、依然として注視が必要。**
- 求職者の大部分は、身分に基づく在留資格（永住者、日本人配偶者等、定住者等）が占めている。

在留資格別新規求職者推移（月別）



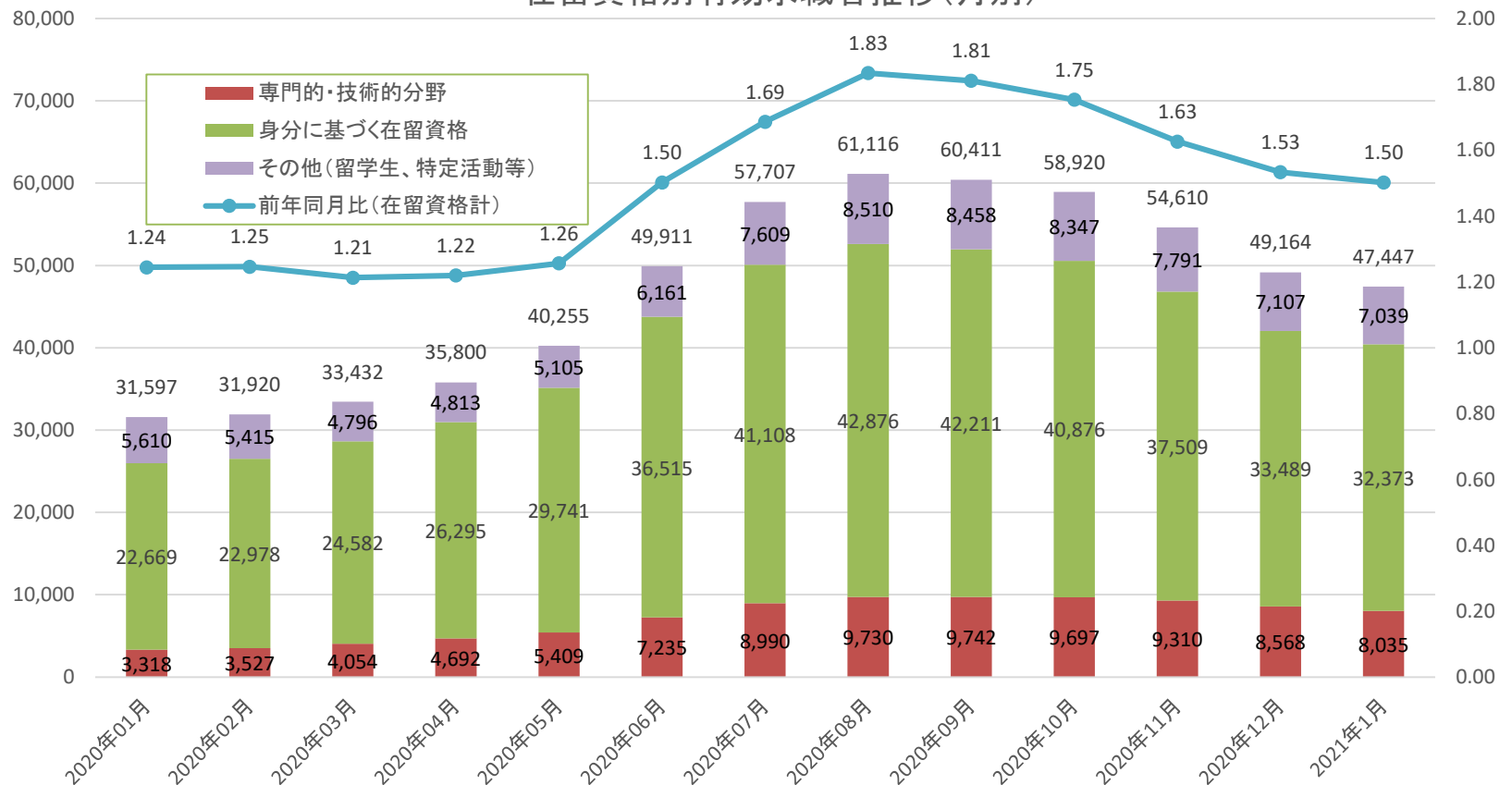
(単位：人)

(出典) ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計（全国計）

# ハローワークにおける外国人有効求職者数の推移

- ハローワークにおける外国人有効求職者数（在留資格計）は、昨年1月から前年同月比で1～2割程度高い状態で推移し、6月から急激に上昇して8月に1.83倍となった後、徐々に減少し、直近では1.5倍となっている。
- 求職者の大部分は、身分に基づく在留資格（永住者、日本人配偶者等、定住者等）が占めている。

在留資格別有効求職者推移（月別）

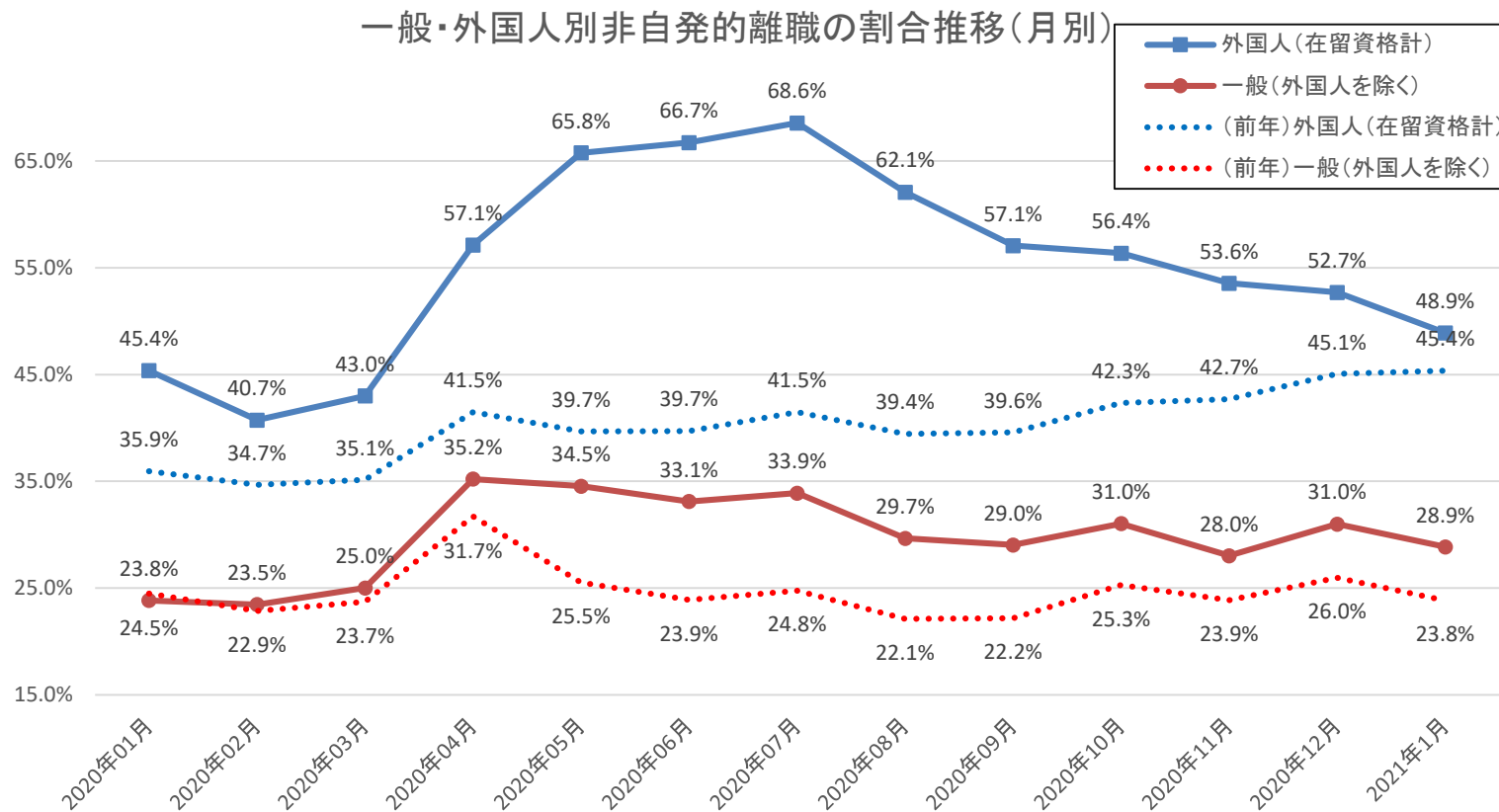


（単位：人）

（出典）ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計（全国計）

# 外国人の非自発的離職の割合の推移（在留資格計）

- ハローワークの**新規求職者**（在職中を除く。）における**非自発的な離職（事業主都合）**の割合を分析した。
- 外国人の非自発的離職の割合は、昨年4月以降増加し、**7月には68.6%**に達した後、漸減し、**直近では48.9%**となっている。前年同月比では、一貫して上振れしており、昨年7月では27ポイント程度の差があったが、その後、上振れ幅は徐々に減少し、直近では3ポイント程度となっている。

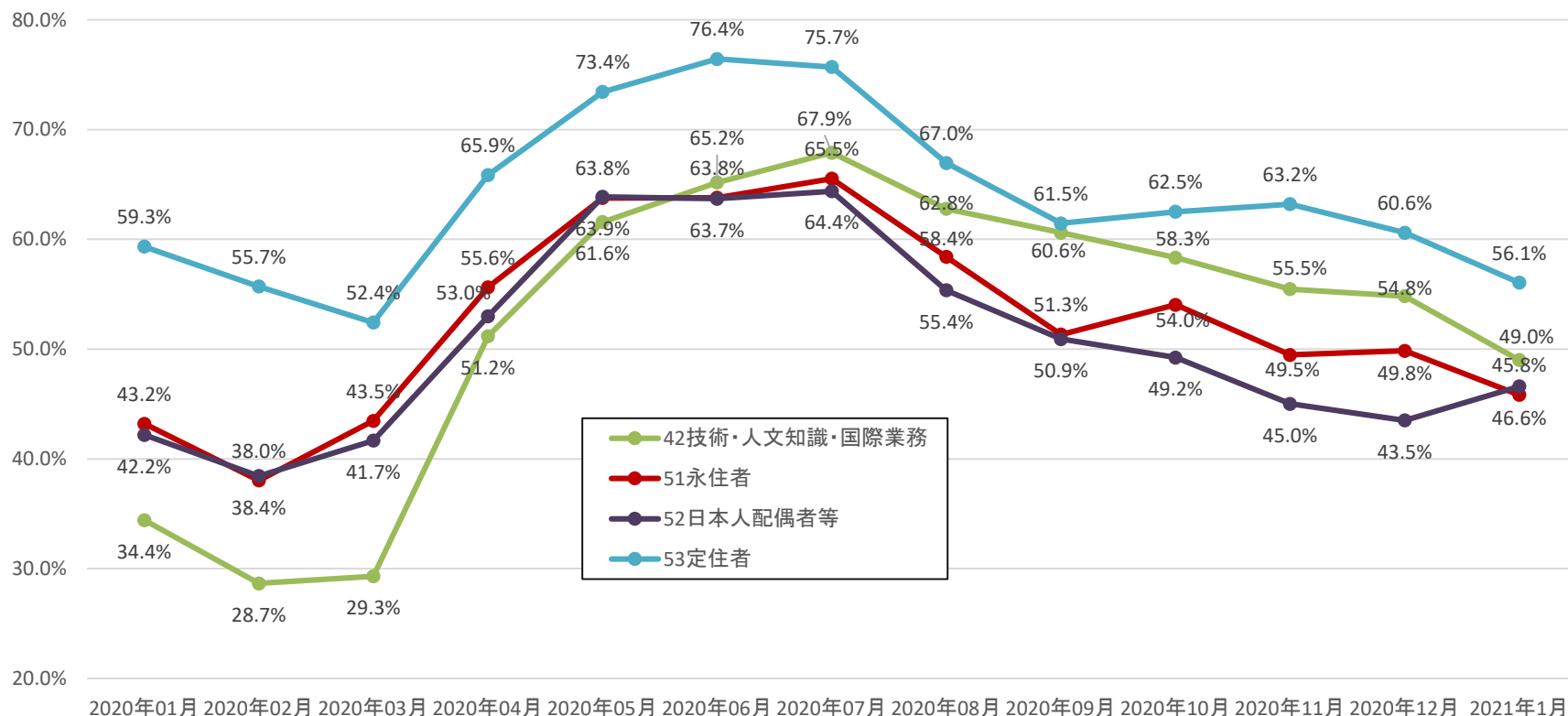


(出典) ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計（全国計）

# 外国人の非自発的離職の割合の推移（在留資格別）

- ハローワークの**新規求職者**（在職中を除く。）における**非自発的な離職（事業主都合）**の割合を在留資格別に分析した。
- **身分に基づく在留資格**については、トレンドはほぼ一致しているが、在留資格により非自発的な離職の割合には差があり、**定住者において割合が最も高く、日本人配偶者等より10ポイント程度高い水準で推移している。**
- **技術・人文知識・国際業務**については、昨年2～3月は日本人配偶者等より10ポイント程度低い水準にあったが、**昨年6月以降は、日本人配偶者等より高い水準で推移している。**

在留資格別非自発的離職の割合推移（在留資格別）

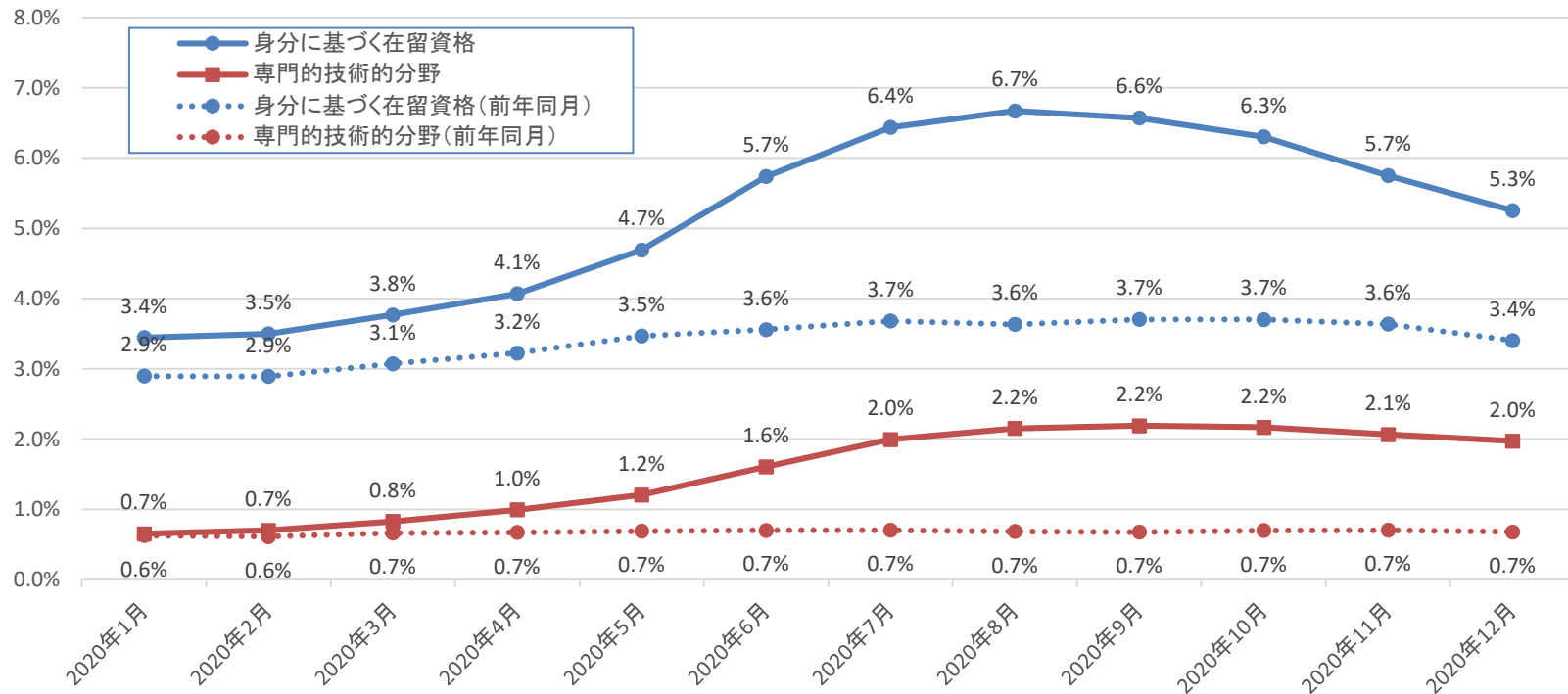


（出典）ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計（全国計）

# 外国人労働者数に占める有効求職者(非在職者)割合の推移

- 外国人雇用状況届における在留資格別の外国人労働者数\*1に占める、ハローワークにおける有効求職者（在職中を除く。）\*2の割合\*3の推移を分析した。
  - 身分に基づく在留資格（永住者、日本人配偶者等、定住者）については、前年同月と比較して、昨年1月から4月まで、緩やかに上振れしていたが、昨年5月から上振れ幅が増大し、8月には、前年同月との差が3.1ポイントとなった後、低下し、直近では1.9ポイントの上振れとなっている。
  - 専門的技術的分野については、前年同月と比較して、本年1月から一貫して上振れ幅が増大を続け、8月には前年同月比1.5ポイント上振れとなり、その後、横ばいで推移している。
- ※1 自営業者を含まない。  
 ※2 自営業からの離職者、無業者（家事、育児等従事者等）を含む。  
 ※3 割合 = 有効求人者数（在職中を除く） ÷ (外国人労働者数 + 有効求人者数(在職中を除く))

外国人労働者数に占める有効求職者数(在職者を除く。)の割合の推移



(出典) 外国人雇用状況届及びハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計（全国計）